

2021年6月30日  
フィデアホールディングス株式会社

## お客さま本位の業務運営方針に基づく具体的な取組状況について

フィデアホールディングス株式会社（代表執行役社長 田尾 祐一）、フィデアグループの株式会社荘内銀行（取締役頭取 田尾 祐一）および株式会社北都銀行（取締役頭取 伊藤 新）は、2017年6月に公表しましたお客さま本位の業務運営方針に基づく具体的な取組状況や成果指標について、2020年度における取組状況および成果指標の推移を取りまとめましたので、別紙のとおり公表いたします。


フィデアグループは、お客さまの安定的な資産形成に貢献するため、今後もお客さま本位の業務運営を確実に実践すべく、定期的な取組状況を検証するとともに、適切な情報の分かりやすい提供に努めてまいります。

本件に関するお問い合わせ先：IRグループ 大石 (TEL022-290-8800)

「お客さま本位の業務運営方針」に係る  
取組状況および成果指標について

2021年6月30日

 **FIDEA** フィデアホールディングス株式会社

 荘内銀行  北都銀行

## お客さま本位の業務運営方針

フィデアグループは、お客さまの安定的な資産形成および運用に資する金融サービスの提供を実現するため、お客さま本位の業務運営方針（以下、「本方針」といいます。）を定め、実践してまいります。

当グループは、お客さまが金融サービスの最終受益者であることを踏まえ、地域に密着した「広域金融グループ」としてお客さまの立場に立った商品・サービス等を提供すると共に価値ある情報を分かりやすく提供することを通して、地域のお客さまと共に育ち、共に発展していくことに努めます。

また、本方針に基づく「取組方針」および「成果指標」を定期的に取りまとめ、お客さまに分かりやすく確認いただけるよう公表し、内容については、定期的に見直します。

※対象となるグループ会社：株式会社荘内銀行、株式会社北都銀行

### 1. お客さまの利益の追求

- ▶ お客さまへの最適な商品・サービスの提供が、お客さまとの継続的な取引や地域のお客さまの生活の質の向上につながるのと企業文化の定着に努めます。
- ▶ お客さまの利益を最優先に追求するため、高い専門性と職業倫理に基づき、コンサルティング機能の強化やアフターフォローを通じて、お客さまの個別ニーズにあった最適な商品・サービスの販売・推奨等を行います。

### 2. お客さまにふさわしいサービスの提供

- ▶ お客さまニーズを的確にとらえ、商品の特性やリスクを踏まえ、販売対象のお客さま属性を想定し、取扱商品のラインナップの充実と商品選定を行います。
- ▶ お客さまへのヒアリングを十分に行い、お客さまの資産状況や金融知識・投資経験を踏まえ、ご意向やライフプラン等に基づいた適切な商品・サービスの販売・推奨等を行います。
- ▶ 販売対象のお客さまとしてふさわしくないと判断した場合、ご提案を控えさせていただきます。
- ▶ 商品・サービスの販売後においても、経済環境の変化や提供した商品の運用状況についての説明など、お客さまの属性に応じた、適切かつ分かりやすいアフターフォローを行います。

### 3. 重要な情報の分かりやすい提供

- ▶ お客さまのご意向・金融知識・投資経験・資産状況や取引目的等を十分に把握した上で、提供する商品・サービスに応じて、商品の特性やリスクを踏まえ、適切かつ分かりやすい情報提供を行います。
- ▶ お客さまにご負担いただく手数料等について、当該手数料等がどのようなサービスの対価に関するものかを含め、より分かりやすい説明資料の充実、販売者の説明スキルの向上を図ります。
- ▶ お客さまに正しくご理解いただけるよう、明確かつ平易に誠実な情報提供を行うと共に、提供する商品・サービスの選定理由についても丁寧に説明を行います。
- ▶ 金融知識・投資経験の浅いお客さまやご高齢のお客さまへの説明は、より丁寧に行います。特にご高齢のお客さまに対しては、ご家族を含めてご理解をいただけるよう説明を行います。

### 4. 利益相反の適切な管理

- ▶ お客さまとの間の利益相反のおそれのある取引に伴い、お客さまの利益を不当に害することのないよう、法令等および利益相反管理に関する社内規則等に従って、適切に業務を管理・遂行してまいります。

### 5. 社内体制・社員教育の充実

- ▶ グループ内において本方針の浸透に努めるとともに、役職員に対する研修・教育の充実を通して、お客さま本位の業務運営をより一層推進してまいります。
- ▶ お客さま本位の業務運営を推進するための業績評価体系の構築と役職員の適切な評価に努めてまいります。

フィデアグループ<sup>※</sup>は、金融庁が2017年3月（2021年1月改訂）に公表した国民の安定的な資産形成の実現に向けた「顧客本位の業務運営に関する原則（以下、FD原則）」を採択し、本原則に基づき、「お客さま本位の業務運営方針（以下、FD方針）」を定め、実践しております。

また、本方針に基づく「取組方針」および成果指標（KPI）をお客さまに分かりやすくご確認いただけるよう定期的な公表を行い、企業文化として定着を図ってまいります。

※対象となるグループ会社：株式会社荘内銀行、株式会社北都銀行

■ 「顧客本位の業務運営に関する原則」に基づく「お客さま本位の業務運営方針」の採択状況

お客さま本位の業務運営方針	該当する顧客本位の業務運営に関する原則
1. お客さまの利益の追求	【2】顧客の最善の利益の追求
2. お客さまにふさわしいサービスの提供	【6】顧客にふさわしいサービスの提供
3. 重要な情報の分かりやすい提供	【4】手数料等の明確化 【5】重要な情報の分かりやすい提供
4. 利益相反の適切な管理	【3】利益相反の適切な管理
5. 社内体制・社員教育の充実	【7】従業員に対する適切な動機づけの枠組み等

■ 「お客さま本位の業務運営方針」に基づく成果指標の公表

具体的な「取組方針」および「成果指標」は以下の通りです。取組方針に基づく成果指標については、継続的に推移を確認し、「お客様本位の業務運営」の取組みに活用してまいります。

具体的な成果指標	掲載頁
1. お客さま利益の追求（比較可能な共通成果指標の状況） (1) 投資信託の運用損益別お客さま比率 (2) 預かり資産残高上位20銘柄のコスト・リターン (3) 預かり資産残高上位20銘柄のリスク・リターン	p.3 p.4~5 p.6~7
2. お客さまにふさわしいサービスの提供 (4) 預かり資産全高 (5) 投資信託口座数 (6) 積立投信 (7) 販売に占める毎月分配型投資信託の割合	p.8 p.8 p.9 p.9
5. 社内体制・社員教育の充実 (8) FP資格取得者数および取得率	p.12

1. お客様の利益の追求

主な取組方針（アクションプラン）

- ▶ お客様との対話を通じて、お客様のご意向やニーズ、投資経験・資産状況を把握することで、ライフプランやライフステージに沿った、適切な商品・サービスの提案を行います。
- ▶ 適合性の原則に基づく投資が可能な商品の販売・推奨等によりお客様の利益の追求、資産形成および運用をサポートします。

■ 比較可能な共通成果指標の状況

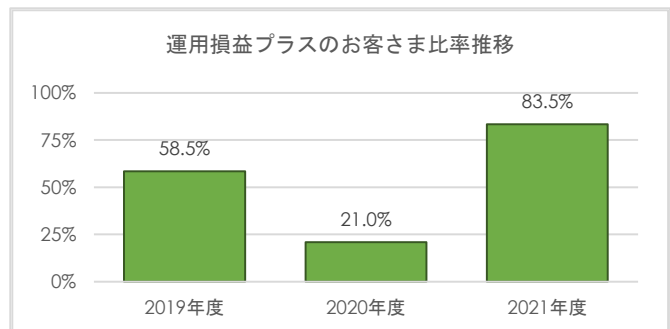
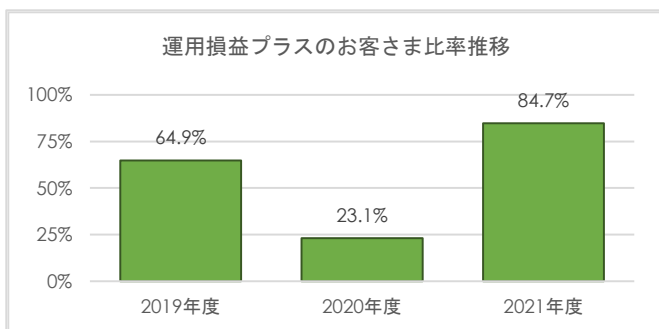
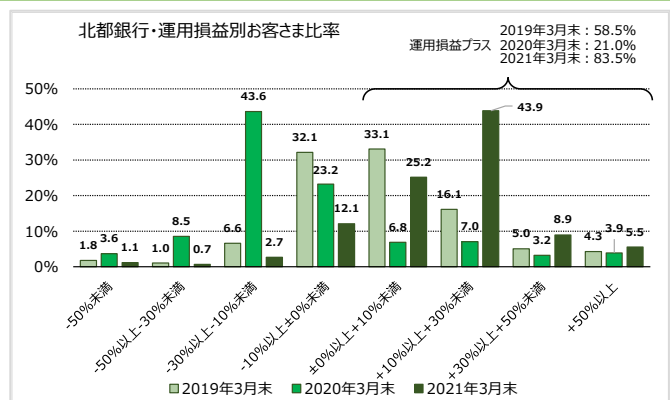
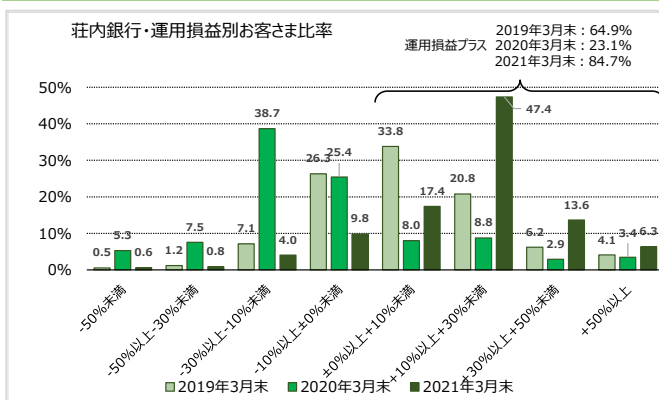
投資信託の販売会社における比較可能な共通成果指標 3 項目を継続的に公表いたします。

【成果指標の定義】

項目名	算出方法		
運用損益別顧客比率	対象顧客	基準日時点で投資信託を保有している個人の顧客	
	対象取引	自社の投資信託口座による取引	
	対象商品	基準日時点で対象顧客が保有している投資信託（公社債投信、私募投信を除く）	
	運用損益計算	全体	投資信託のそれぞれについて運用損益を算出
		分子	基準日時点の評価金額 + 累計受取分配金額（税引後） + 累計売付金額 - 累計買付金額（税込販売手数料含む） ※基準日時点までに全部売却・償還された銘柄は対象外
分母		基準日時点の評価金額	
	遡及期間	当該購入銘柄の当初まで遡及	
預かり残高上位20銘柄のコスト・リターン	対象銘柄	預かり資産残高上位20銘柄（設定後5年以上）※公社債投信、私募投信等は除く、単位型は含む	
	コスト	全体	基準日時点の販売手数料（税込）の5分の1と信託報酬率（税込）の合計値
		販売手数料率	目論見書の上限值ではなく、最低販売額での最も高い料率
		信託報酬率	目論見書上の実質的な信託報酬率の上限值（その他費用・手数料除く）
リターン	過去5年間のトータルリターン（年率換算）※騰落率算出に用いる基準価額は分配金再投資後（税引前）の基準価額を使用		
預かり残高上位20銘柄のリスク・リターン	対象銘柄	預かり資産残高上位20銘柄（設定後5年以上）※公社債投信、私募投信等は除く、単位型は含む	
	リスク	過去5年間の月次リターンの標準偏差（年率換算）※騰落率算出に用いる基準価額は分配金再投資後（税引前）の基準価額を使用	
	リターン	過去5年間のトータルリターン（年率換算）※騰落率算出に用いる基準価額は分配金再投資後（税引前）の基準価額を使用	

(1) 投資信託の運用損益別お客様比率

- ▶ お客様の運用損益は、前年度コロナショック直後との比較となることから大幅に改善しました。
- ▶ コロナ禍の金融緩和がマーケットの支えとなり、運用損益プラスのお客様比率は8割を超えました。



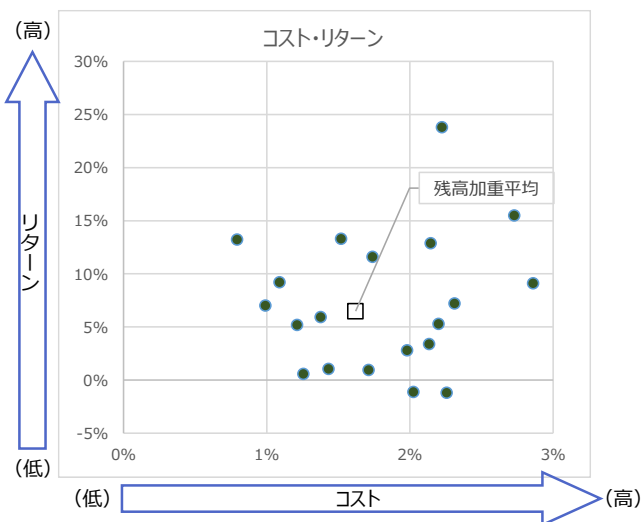
## 主な取組方針（アクションプラン）と成果指標（KPI）

### (2-1) 【荘内銀行】投資信託の預かり資産残高上位 20 銘柄のコスト・リターン

- コストは、預かり資産残高上位の銘柄に大きな変動がなかったことから横ばいとなりました。
- リターンは、マーケット環境の回復、株価上昇の支えにより株式ファンドが牽引し大幅に改善しました。

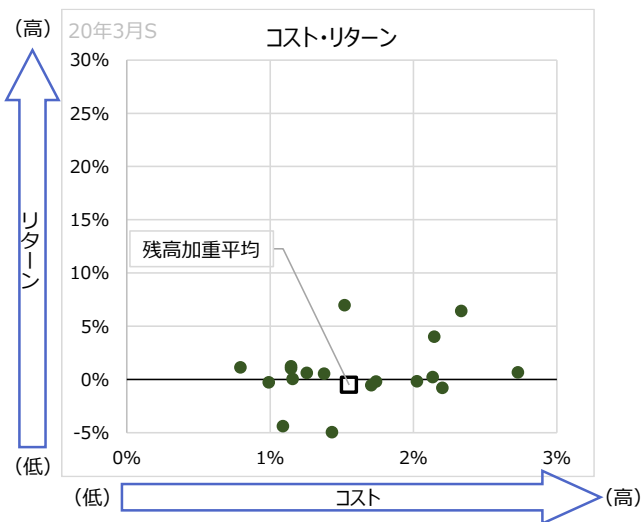
#### 2021年3月

順位	ファンド名	2021年3月末	
		コスト	リターン
1	財産3分法ファンド（不動産・債券・株式）毎月分配型	1.38%	5.94%
2	ワールド・リート・オープン（毎月決算型）	2.26%	▲1.18%
3	インデックスファンド225	0.79%	13.25%
*4	グローバル全世界ゲーム株ファンド	2.46%	16.08%
*5	グローバル3倍3分法ファンド1年決算型	1.14%	7.69%
6	投資のソムリエ	1.98%	2.81%
*7	ひふみワールド+	2.18%	6.26%
8	東京海上・円資産バランスファンド（年1回決算型）	1.25%	0.59%
9	短期豪ドル債オープン（毎月分配型）	1.43%	1.07%
*10	グローバル3倍3分法ファンド隔月分配型	1.14%	7.91%
11	グローバル好配当株オープン	1.74%	11.62%
*12	あおぞら新グローバル・コア・ファンド（限定追加型）2020-II	1.96%	0.11%
13	netWIN GSテクノロジー株式ファンドBコース（為替ヘッジなし）	2.22%	23.82%
14	ニッセイ短期インド債券ファンド（毎月決算型）	2.13%	3.41%
15	世界経済インデックスファンド	0.99%	7.04%
16	トヨタ自動車/トヨタグループ株式ファンド	1.09%	9.23%
17	H S B C インドオープン	2.86%	9.12%
*18	深セン・イノベーション株式ファンド	2.37%	10.63%
19	ひふみプラス	1.52%	13.31%
20	ブラジル・ボンド・オープン（毎月決算型）	2.02%	▲1.12%
2021年3月 残高加重平均		コスト 1.62%	リターン 6.48%



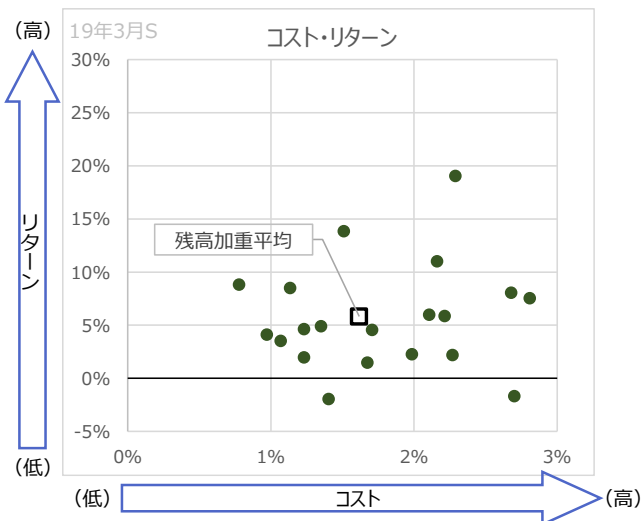
#### 2020年3月

順位	ファンド名	2020年3月末	
		コスト	リターン
1	財産3分法ファンド（不動産・債券・株式）毎月分配型	1.38%	0.54%
2	インデックスファンド225	0.79%	1.13%
3	ワールド・リート・オープン（毎月決算型）	2.26%	▲8.10%
*4	グローバル3倍3分法ファンド（1年決算型）	1.14%	1.03%
5	東京海上・円資産バランスファンド（年1回決算型）	1.25%	0.62%
6	ひふみプラス	1.52%	6.98%
7	短期豪ドル債オープン（毎月分配型）	1.43%	▲4.96%
8	ニッセイ短期インド債券ファンド（毎月決算型）	2.13%	0.21%
*9	グローバル3倍3分法ファンド（隔月分配型）	1.14%	1.23%
10	グローバル好配当株オープン	1.74%	▲0.20%
11	ブラジル・ボンド・オープン（毎月決算型）	2.02%	▲0.19%
12	トヨタ自動車/トヨタグループ株式ファンド	1.09%	▲4.40%
13	世界経済インデックスファンド	0.99%	▲0.27%
14	グローバル・ソブリン・オープン（毎月決算型）	1.71%	▲0.56%
15	H S B C インドオープン	2.86%	▲9.42%
16	ムラ日米REITファンド（毎月分配型）	2.20%	▲0.81%
17	MHAM J-REITインデックスファンド（毎月決算型）	1.16%	0.04%
18	シュローダーBRICS株式ファンド	2.73%	0.66%
*19	ジャパン・ロボティクス株式ファンド（1年決算型）	2.15%	4.01%
20	日本新興株オープン	2.33%	6.43%
2020年3月 残高加重平均		コスト 1.55%	リターン ▲0.52%



#### 2019年3月

順位	ファンド名	2019年3月末	
		コスト	リターン
1	財産3分法ファンド（不動産・債券・株式）毎月分配型	1.35%	4.90%
2	ワールド・リート・オープン（毎月決算型）	2.21%	5.87%
3	短期豪ドル債オープン（毎月分配型）	1.51%	13.87%
4	ニッセイ短期インド債券ファンド（毎月決算型）	1.40%	▲1.94%
5	インデックスファンド225	0.78%	8.83%
*6	MHAM J-REITインデックスファンド（毎月決算型）	1.23%	4.65%
7	グローバル好配当株オープン	1.07%	3.52%
8	ブラジル・ボンド・オープン（毎月決算型）	1.71%	4.56%
9	ムラ日米REITファンド（毎月分配型）	1.98%	2.27%
10	グローバル・ソブリン・オープン（毎月決算型）	1.13%	8.51%
11	世界経済インデックスファンド	2.81%	7.54%
12	HSBCインドオープン	0.97%	4.13%
13	シュローダーBRICS株式ファンド	2.16%	11.03%
14	日本新興株オープン	1.67%	1.49%
*15	トヨタ自動車/トヨタグループ株式ファンド	2.11%	5.99%
16	HSBCブラジルオープン	2.68%	8.08%
17	ひふみプラス	2.29%	19.06%
*18	チャイナ・ロード	1.23%	1.98%
19	インデックスファンドDAX30（ドイツ株式）	2.70%	▲1.67%
20	世界銀行債券ファンド	2.27%	2.19%
2019年3月 残高加重平均		コスト 1.62%	リターン 5.82%



(注) 順位の左側に\*印のある銘柄は、基準日において銘柄設定から5年未満のため、残高加重平均に含めておりません。



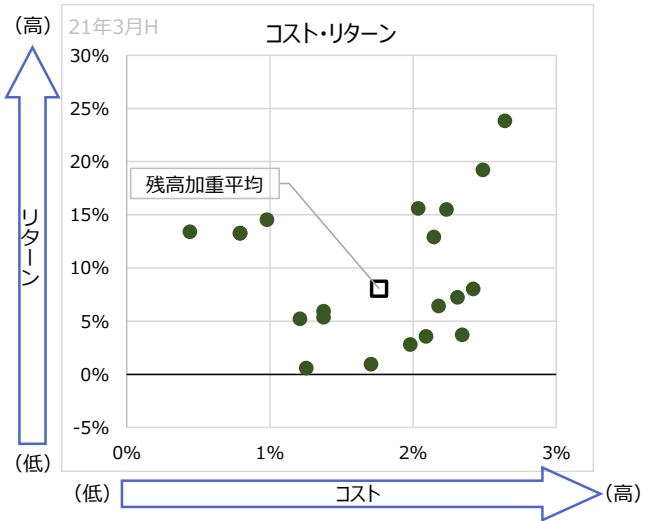
# 主な取組方針（アクションプラン）と成果指標（KPI）

## (2-2) 【北都銀行】投資信託の預かり資産残高上位 20 銘柄のコスト・リターン

- 投資信託のコストは、預かり資産残高上位の銘柄に大きな変動がなかったことから横ばいとなりました。
- リターンは、マーケット環境の回復、株価上昇の支えにより株式ファンドが牽引、大幅に改善したことで、上位 20 銘柄のリターンはすべてプラスとなりました。

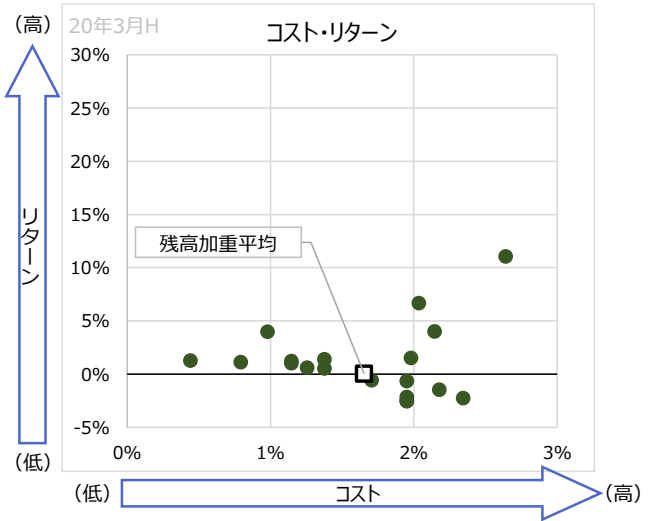
### 2021年3月

順位	ファンド名	2021年3月末	
		コスト	リターン
1	財産3分法ファンド（不動産・債券・株式）毎月分配型	1.38%	5.94%
2	アジア・オセアニア好配当成長株オープン（毎月分配型）	2.42%	8.03%
* 3	グローバル全世界ゲノム株式ファンド	2.46%	16.08%
4	投資のソムリエ	1.98%	2.81%
* 5	あおぞら新グローバル分散ファンド2021-01	1.84%	0.14%
6	新光US-R E I Tオープン（ゼウス）	2.34%	3.70%
* 7	グローバル3倍3分法ファンド1年決算型	1.14%	7.69%
8	Jリートファンド	1.38%	5.36%
9	ダイワ・グローバルR E I T・オープン（毎月分配型）（世界の街並み）	2.18%	6.42%
10	女性活躍応援ファンド（権）	2.04%	15.60%
11	netWIN GSテクノロジー株式ファンドBコース（為替ヘッジなし）	2.64%	23.82%
12	インデックスファンド225	0.79%	13.27%
* 13	深セン・イノベーション株式ファンド	2.37%	10.63%
14	オーストラリア株式ファンド	2.31%	7.23%
* 15	グローバル3倍3分法ファンド隔月分配型	1.14%	7.91%
16	東京海上・円資産バランスファンド（毎月決算型）（円奏会）	1.25%	0.58%
17	SMTAMダウ・ジョーンズインデックスファンド	0.98%	14.54%
18	三菱UFJ純金ファンド	1.21%	5.21%
19	グローバル・ソブリン・オープン（毎月決算型）	1.71%	0.96%
* 20	あおぞら新グローバル分散ファンド2020-10	1.81%	0.46%
2021年3月 残高加重平均		コスト 1.76%	リターン 8.04%



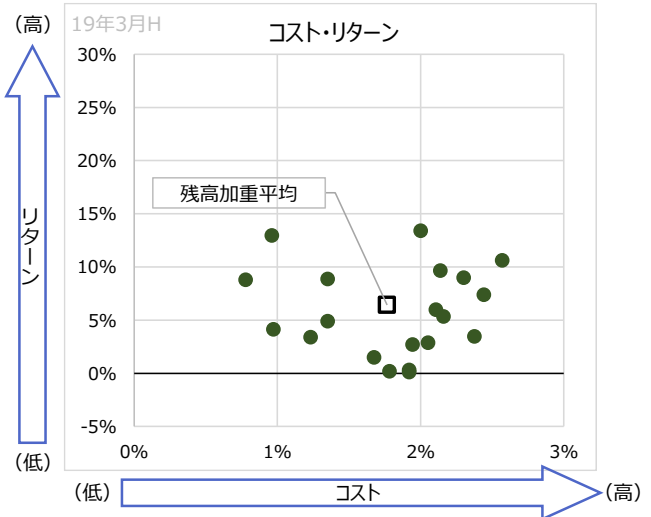
### 2020年3月

順位	ファンド名	2020年3月末	
		コスト	リターン
1	財産3分法ファンド（不動産・債券・株式）毎月分配型	1.38%	0.54%
2	アジア・オセアニア好配当成長株オープン（毎月分配型）	2.42%	▲5.02%
* 3	グローバル3倍3分法ファンド（1年決算型）	1.14%	1.03%
4	MUAMインデックスファンド225	0.79%	1.15%
5	新光US-R E I Tオープン（ゼウス）	2.34%	▲2.24%
6	女性活躍応援ファンド（権）	2.04%	6.68%
7	ダイワ・グローバルR E I T・オープン（毎月分配型）（世界の街並み）	2.18%	▲1.44%
8	Jリートファンド	1.38%	1.40%
* 9	グローバル3倍3分法ファンド（隔月分配型）	1.14%	1.23%
10	投資のソムリエ	1.98%	1.52%
* 11	あおぞら新グローバル分散ファンド（限定追加型）2018-10	1.95%	▲2.15%
12	東京海上・円資産バランスファンド（毎月決算型）（円奏会）	1.25%	0.62%
13	グローバル・ソブリン・オープン（毎月決算型）	1.71%	▲0.56%
* 14	あおぞら新グローバル分散ファンド（限定追加型）2019-01	1.95%	▲2.55%
15	SMTAMダウ・ジョーンズインデックスファンド	0.98%	3.99%
* 16	あおぞら新グローバル分散ファンド（限定追加）2020-01	1.95%	▲0.64%
* 17	ジャパン・ロボティクス株式ファンド（1年決算型）	2.15%	4.01%
18	netWIN GSテクノロジー株式ファンドBコース（為替ヘッジなし）	2.64%	11.06%
19	e M A X I S 日経225インデックス	0.44%	1.27%
* 20	あおぞら新グローバル分散ファンド（限定追加型）2019-04	1.95%	▲2.50%
2019年3月 残高加重平均		コスト 1.67%	リターン 0.42%



### 2019年3月

順位	ファンド名	2019年3月末	
		コスト	リターン
1	財産3分法ファンド（不動産・債券・株式）毎月分配型	1.35%	4.90%
2	アジア・オセアニア好配当成長株オープン（毎月分配型）	2.38%	3.46%
3	女性活躍応援ファンド（権）	2.00%	13.40%
4	新光US-R E I Tオープン（ゼウス）	2.30%	8.98%
5	MUAMインデックスファンド225	0.78%	8.80%
6	ダイワ・グローバルR E I T・オープン（毎月分配型）（世界の街並み）	2.14%	9.65%
7	Jリートファンド	1.35%	8.87%
* 8	あおぞら新グローバル分散ファンド（限定追加型）2018-10	1.92%	0.32%
* 9	ジャパン・ロボティクス株式ファンド（1年決算型）	2.11%	5.99%
10	投資のソムリエ	1.94%	2.70%
11	グローバル・ソブリン・オープン（毎月決算型）	1.67%	1.49%
12	東京海上・円資産バランスファンド（毎月決算型）（円奏会）	1.23%	3.38%
* 13	あおぞら新グローバル分散ファンド（限定追加型）2019-01	1.92%	0.10%
14	SMTAMダウ・ジョーンズインデックスファンド	0.96%	12.95%
15	世界経済インデックスファンド	0.97%	4.13%
16	みずほUSハイイールドオープンBコース（為替ヘッジなし）	2.16%	5.33%
17	アジア好利回りリート・ファンド	2.57%	10.62%
18	MHAM豪ドル債券ファンド（毎月決算型）	1.78%	0.18%
* 19	グローバル・ロボティクス株式ファンド（1年決算型）	2.44%	7.37%
20	グローバル3資産ファンド（ワンプレートランチ）	2.05%	2.88%
2019年3月 残高加重平均		コスト 1.75%	リターン 6.43%



(注) 順位の左側に\*印のある銘柄は、基準日において銘柄設定から5年未満のため、残高加重平均に含めておりません。

# 主な取組方針（アクションプラン）と成果指標（KPI）

## (3-1) 【荘内銀行】投資信託の預かり資産残高上位 20 銘柄のリスク・リターン

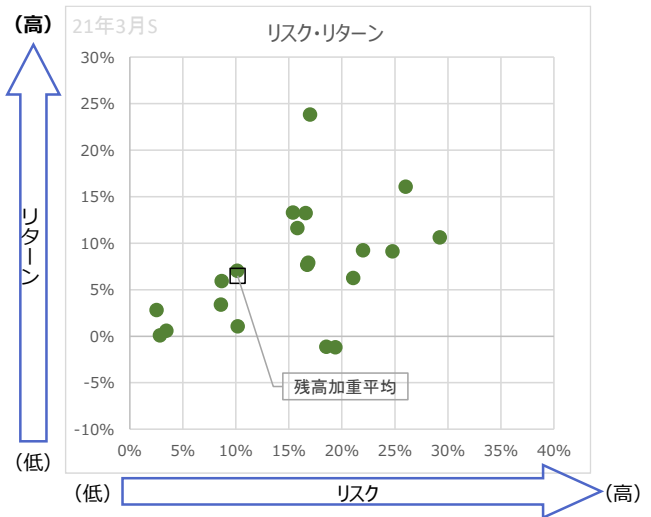
- リスクは、コロナショックからの回復基調と金融緩和が支えとなり、前年度比で低減しました。
- リターンは、マーケット環境の回復、株価上昇の支えにより株式ファンドが牽引し大幅に改善しました。

### 2021年3月

順位	ファンド名	2021年3月末	
		リスク	リターン
1	財産3分法ファンド（不動産・債券・株式）毎月分配型	8.66%	5.94%
2	ワールド・リート・オープン（毎月決算型）	19.38%	▲1.18%
3	インデックスファンド225	16.58%	13.25%
* 4	グローバル全世界ゲノム株式ファンド	26.02%	16.08%
* 5	グローバル3倍3分法ファンド1年決算型	16.73%	7.69%
6	投資のソムリエ	2.51%	2.81%
* 7	ひふみワールド+	21.07%	6.26%
8	東京海上・円資産バランスファンド（年1回決算型）	3.45%	0.59%
9	短期豪ドル債オープン（毎月分配型）	10.18%	1.07%
* 10	グローバル3倍3分法ファンド隔月分配型	16.83%	7.91%
11	グローバル好配当株オープン	15.80%	11.62%
* 12	あおぞら新グローバルコア・ファンド（限定追加型）2020-II	2.84%	0.11%
13	netWIN GSTテクノロジー株式ファンドBCコース（為替ヘッジなし）	17.00%	23.82%
14	ニッセイ短期インド債券ファンド（毎月決算型）	8.59%	3.41%
15	世界経済インデックスファンド	10.11%	7.04%
16	トヨタ自動車/トヨタグループ株式ファンド	21.99%	9.23%
17	H S B Cインドオープン	24.76%	9.12%
* 18	深セン・イノベーション株式ファンド	29.22%	10.63%
19	ひふみプラス	15.38%	13.31%
20	ブラジル・ボンド・オープン（毎月決算型）	18.54%	▲1.12%

2021年3月	リスク	リターン
残高加重平均	10.18%	6.48%

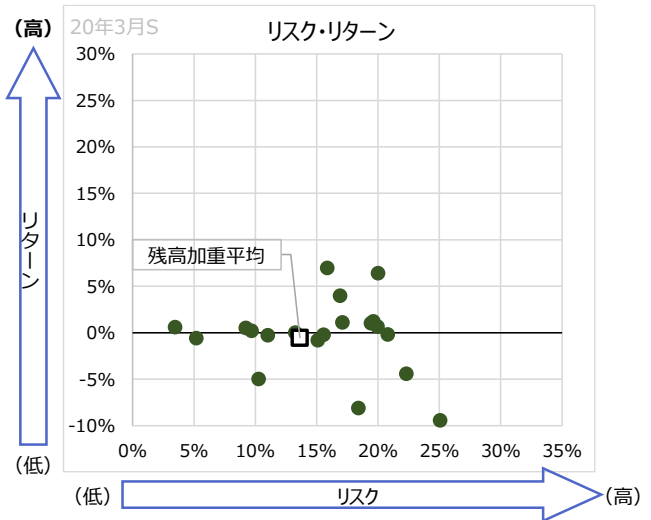


### 2020年3月

順位	ファンド名	2020年3月末	
		リスク	リターン
1	財産3分法ファンド（不動産・債券・株式）毎月分配型	9.21%	0.54%
2	インデックスファンド225	17.10%	1.13%
3	ワールド・リート・オープン（毎月決算型）	18.40%	▲8.10%
* 4	グローバル3倍3分法ファンド（1年決算型）	19.43%	1.03%
5	東京海上・円資産バランスファンド（年1回決算型）	3.44%	0.62%
6	ひふみプラス	15.86%	6.98%
7	短期豪ドル債オープン（毎月分配型）	10.27%	▲4.96%
8	ニッセイ短期インド債券ファンド（毎月決算型）	9.68%	0.21%
* 9	グローバル3倍3分法ファンド（隔月分配型）	19.61%	1.23%
10	グローバル好配当株オープン	15.56%	▲0.20%
11	ブラジル・ボンド・オープン（毎月決算型）	20.78%	▲0.19%
12	トヨタ自動車/トヨタグループ株式ファンド	22.31%	▲4.40%
13	世界経済インデックスファンド	11.01%	▲0.27%
14	グローバル・ソブリン・オープン（毎月決算型）	5.19%	▲0.56%
15	H S B Cインドオープン	25.07%	▲9.42%
16	ムラバ米REITファンド（毎月分配型）	15.08%	▲0.81%
17	MHAM J-REITインデックスファンド（毎月決算型）	13.24%	0.04%
18	シュローダーBRICS株式ファンド	19.96%	0.66%
* 19	ジャパン・ロボティクス株式ファンド（1年決算型）	16.91%	4.01%
20	日本新興株オープン	20.00%	6.43%

2020年3月	リスク	リターン
残高加重平均	12.78%	▲0.52%

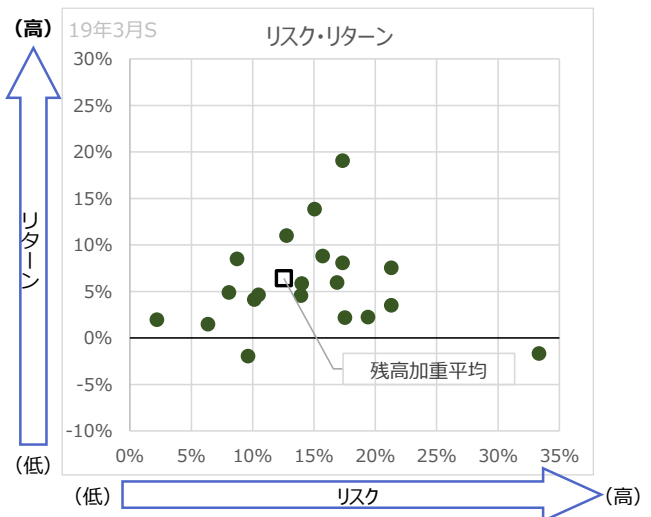


### 2019年3月

順位	ファンド名	2019年3月末	
		リスク	リターン
1	財産3分法ファンド（不動産・債券・株式）毎月分配型	8.05%	4.90%
2	ワールド・リート・オープン（毎月決算型）	13.99%	5.87%
3	ひふみプラス	15.03%	13.87%
4	短期豪ドル債オープン（毎月分配型）	9.61%	▲1.94%
5	インデックスファンド225	15.70%	8.83%
* 6	ニッセイ短期インド債券ファンド（毎月決算型）	10.48%	4.65%
7	トヨタ自動車/トヨタグループ株式ファンド	21.30%	3.52%
8	グローバル好配当株オープン	13.94%	4.56%
9	ブラジル・ボンド・オープン（毎月決算型）	19.40%	2.27%
10	MHAM J-REITインデックスファンド（毎月決算型）	8.73%	8.51%
11	H S B Cインドオープン	21.29%	7.54%
12	世界経済インデックスファンド	10.13%	4.13%
13	ムラバ米REITファンド（毎月分配型）	12.77%	11.03%
14	グローバル・ソブリン・オープン（毎月決算型）	6.34%	1.49%
* 15	ジャパン・ロボティクス株式ファンド（1年決算型）	16.88%	5.99%
16	シュローダーBRICS株式ファンド	17.32%	8.08%
17	日本新興株オープン	17.32%	19.06%
* 18	東京海上・円資産バランスファンド（年1回決算型）	2.19%	1.98%
19	H S B Cブラジルオープン	33.34%	▲1.67%
20	オーストラリア株式ファンド	17.52%	2.19%

2019年3月	リスク	リターン
残高加重平均	12.61%	5.82%



(注) 順位の左側に\*印のある銘柄は、基準日において銘柄設定から5年未満のため、残高加重平均に含めておりません。



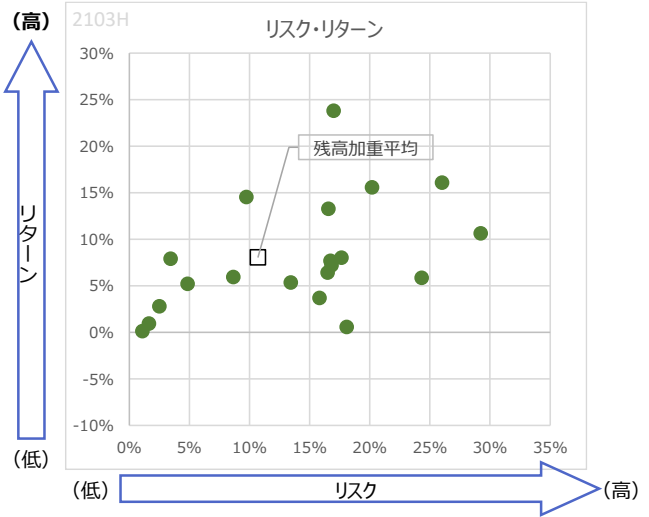
# 主な取組方針（アクションプラン）と成果指標（KPI）

## (3-2) 【北都銀行】投資信託の預かり資産残高上位 20 銘柄のリスク・リターン

- リスクは、コロナショックからの回復基調と金融緩和が支えとなり、継続的に低減しました。
- リターンは、マーケット環境の回復、株価上昇の支えにより株式ファンドが牽引し大幅に改善し、上位 20 銘柄のリターンはすべてプラスとなりました。

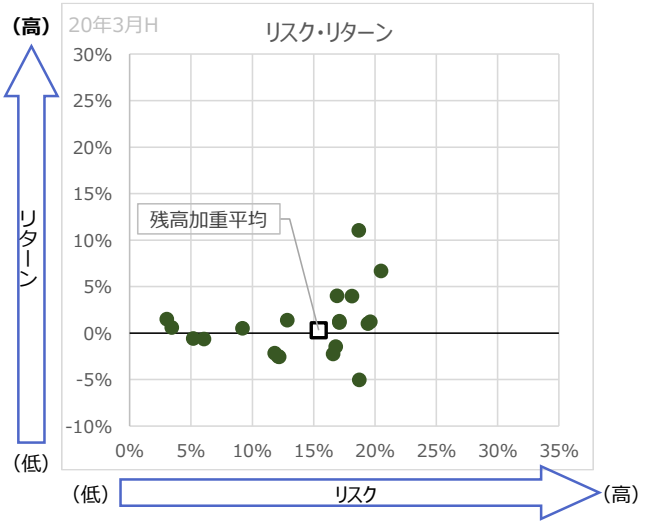
### 2021年3月

順位	ファンド名	2021年3月末	
		リスク	リターン
1	財産3分法ファンド（不動産・債券・株式）毎月分配型	8.66%	5.94%
2	アジア・オセアニア好配当成長株オープン（毎月分配型）	17.64%	8.03%
3	グローバル全世界ゲノム株式ファンド	26.02%	16.08%
4	投資のソムリエ	2.51%	2.81%
5	あおぞら新グローバル分散ファンド2021-01	1.10%	0.14%
6	新光US-R E I Tオープン（ゼウス）	15.83%	3.70%
7	グローバル3倍3分法ファンド1年決算型	16.73%	7.69%
8	Jリートファンド	13.44%	5.36%
9	タイウ・グローバルR E I Tオープン（毎月分配型）（世界の街並み）	16.50%	6.42%
10	女性活躍応援ファンド（権）	20.19%	15.60%
11	netWIN GSテクノロジー株式ファンドBコース（為替ヘッジなし）	17.00%	23.82%
12	インデックスファンド225	16.57%	13.27%
13	深セン・イノベーション株式ファンド	29.22%	10.63%
14	オーストラリア株式ファンド	24.31%	5.88%
15	グローバル3倍3分法ファンド隔月分配型	16.83%	7.23%
16	東京海上・円資産バランスファンド（毎月決算型）（円奏会）	3.45%	7.91%
17	SMTAMダウ・ジョーンズインデックスファンド	18.08%	0.58%
18	三菱UFJ純金ファンド	9.74%	14.54%
19	グローバル・ソブリン・オープン（毎月決算型）	4.86%	5.21%
20	あおぞら新グローバル分散ファンド2020-10	1.64%	0.96%
2021年3月 残高加重平均		リスク 10.70%	リターン 8.04%



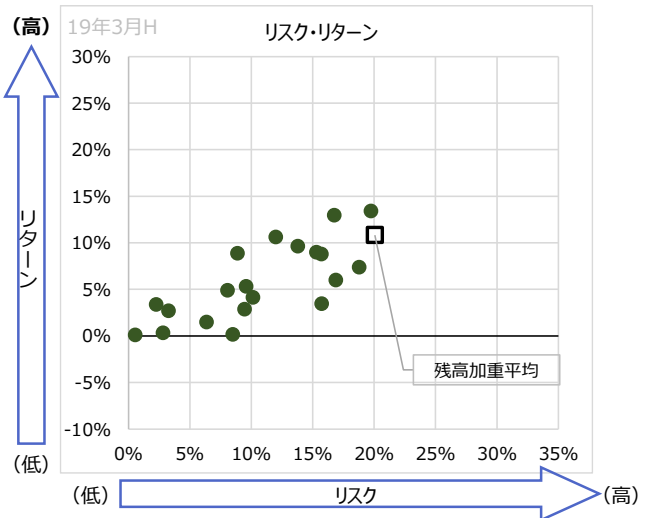
### 2020年3月

順位	ファンド名	2020年3月末	
		リスク	リターン
1	財産3分法ファンド（不動産・債券・株式）毎月分配型	9.21%	0.54%
2	アジア・オセアニア好配当成長株オープン（毎月分配型）	18.73%	▲5.02%
3	グローバル3倍3分法ファンド（1年決算型）	19.43%	1.03%
4	MUAMインデックスファンド225	17.10%	1.15%
5	新光US-R E I Tオープン（ゼウス）	16.59%	▲2.24%
6	女性活躍応援ファンド（権）	20.49%	6.68%
7	タイウ・グローバルR E I Tオープン（毎月分配型）（世界の街並み）	16.79%	▲1.44%
8	Jリートファンド	12.85%	1.40%
9	グローバル3倍3分法ファンド（隔月分配型）	19.61%	1.23%
10	投資のソムリエ	3.02%	1.52%
11	あおぞら・新グローバル分散ファンド（限定追加型）2018-10	11.82%	▲2.15%
12	東京海上・円資産バランスファンド（毎月決算型）（円奏会）	3.44%	0.62%
13	グローバル・ソブリン・オープン（毎月決算型）	5.19%	▲0.56%
14	あおぞら・新グローバル分散ファンド（限定追加型）2019-01	12.19%	▲2.55%
15	SMTAMダウ・ジョーンズインデックスファンド	18.13%	3.99%
16	あおぞら・新グローバル分散ファンド（限定追加）2020-01	6.05%	▲0.64%
17	ジャパン・ロボティクス株式ファンド（1年決算型）	16.91%	4.01%
18	netWIN GSテクノロジー株式ファンドBコース（為替ヘッジなし）	18.68%	11.06%
19	eMAXI S日経225インデックス	17.10%	1.27%
20	あおぞら・新グローバル分散ファンド（限定追加型）2019-04	12.10%	▲2.50%
2020年3月 残高加重平均		リスク 13.19%	リターン 0.42%



### 2019年3月

順位	ファンド名	2019年3月末	
		リスク	リターン
1	財産3分法ファンド（不動産・債券・株式）毎月分配型	8.05%	4.90%
2	アジア・オセアニア好配当成長株オープン（毎月分配型）	15.73%	3.46%
3	女性活躍応援ファンド（権）	19.74%	13.40%
4	新光US-R E I Tオープン（ゼウス）	15.30%	8.98%
5	MUAMインデックスファンド225	15.71%	8.80%
6	タイウ・グローバルR E I Tオープン（毎月分配型）（世界の街並み）	13.79%	9.65%
7	Jリートファンド	8.87%	8.87%
8	あおぞら・新グローバル分散ファンド（限定追加型）2018-10	2.81%	0.32%
9	ジャパン・ロボティクス株式ファンド（1年決算型）	16.88%	5.99%
10	投資のソムリエ	3.25%	2.70%
11	グローバル・ソブリン・オープン（毎月決算型）	6.34%	1.49%
12	東京海上・円資産バランスファンド（毎月決算型）（円奏会）	2.25%	3.38%
13	あおぞら・新グローバル分散ファンド（限定追加型）2019-01	0.54%	0.10%
14	SMTAMダウ・ジョーンズインデックスファンド	16.75%	12.95%
15	世界経済インデックスファンド	10.13%	4.13%
16	みずほUSハイイールドオープンBコース（為替ヘッジなし）	9.58%	5.33%
17	アジア好利回りリート・ファンド	12.00%	10.62%
18	MHAM豪ドル債券ファンド（毎月決算型）	8.49%	0.18%
19	グローバル・ロボティクス株式ファンド（1年決算型）	18.79%	7.37%
20	グローバル3資産ファンド（ワンプレートランチ）	9.44%	2.88%
2019年3月 残高加重平均		リスク 12.52%	リターン 6.43%



(注) 順位の左側に\*印のある銘柄は、基準日において銘柄設定から5年未満のため、残高加重平均に含めておりません。

## 2. お客様にふさわしいサービスの提供

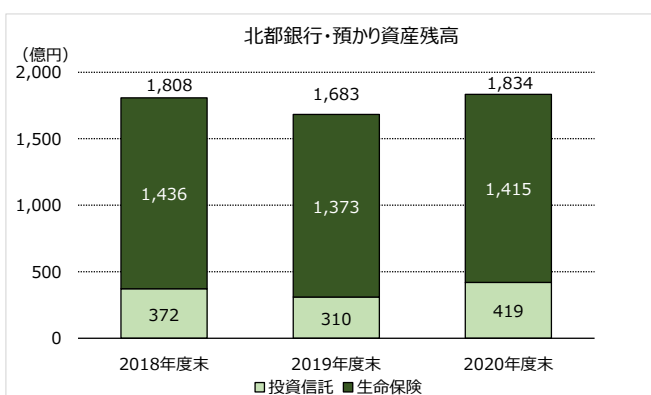
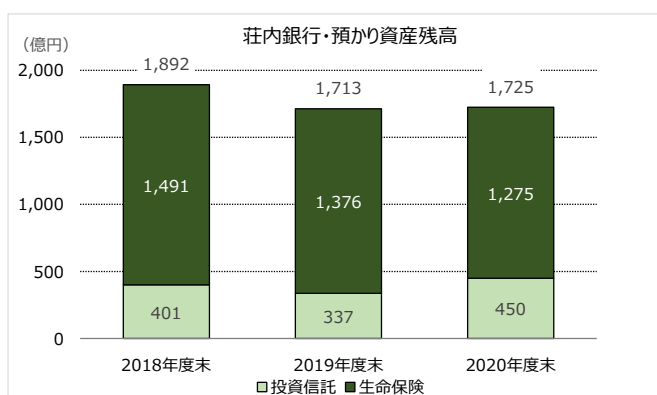
### 主な取組方針（アクションプラン）

- ▶ お客さまとの対話を通じて、お客さまのご意向やニーズ、投資経験・資産状況を把握することで、ライフプランやライフステージに沿った、適切な商品・サービスの提案を行います。
- ▶ お客さまへ提供する最適な商品・サービスの充実を図り、あらゆる世代のお客さまの幅広いニーズに的確に対応してまいります。
- ▶ お客さまの資産形成および運用をサポートするため、積立投信をはじめとする、長期・積立・分散投資の啓蒙・提案を行います。

### (4) 預かり資産残高

お客さまの安定的な資産形成に貢献できるよう、資産状況や投資目的に沿った提案に努めております。

- ▶ 預かり資産残高は、投資信託の純増が寄与し、両行ともに増加しました。

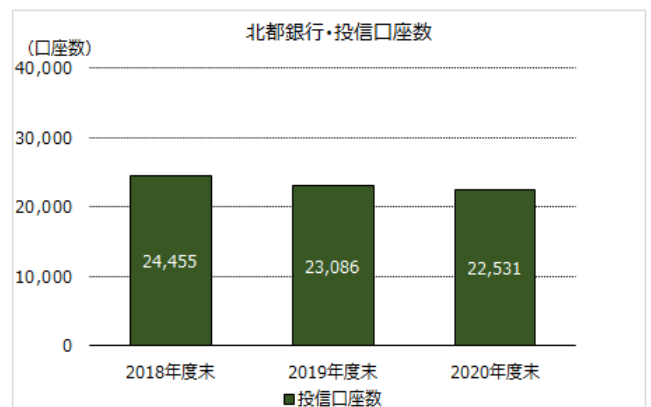
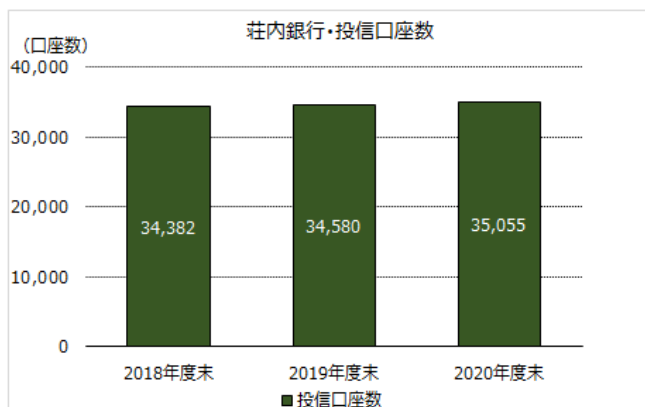


※投資信託の時価残高と一時払生命保険の有効契約残高を集計しております。

### (5) 投資信託口座数

お客さまの中長期的な視点での安定的な資産形成を支援します。

- ▶ 荘内銀行は、積立投信の契約数の増加が波及し増加しました。
- ▶ 北都銀行は、良好なマーケット環境を受けて利益確定を行うお客さまが増加した影響により減少しました。



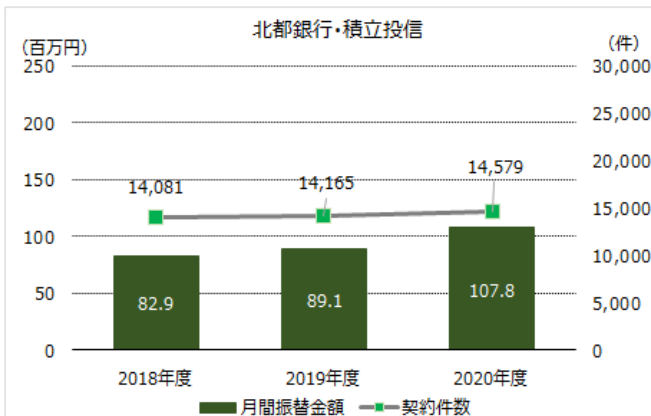
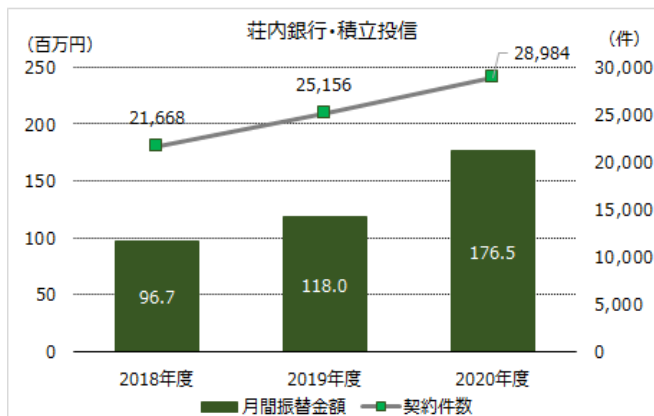
※投資信託の基準日時点での残高を有するお客さまを集計しております。

※投資信託の口座は、お一人につき1口座開設いただけます。

（6）積立投資信託の取引状況

お客さまの中長期的・安定的な資産形成をサポートします。

- ▶ お客さまの資産形成サポートのため積立投信のご提案を推進しております。
- ▶ 契約件数および月間振替金額ともに増加しております。

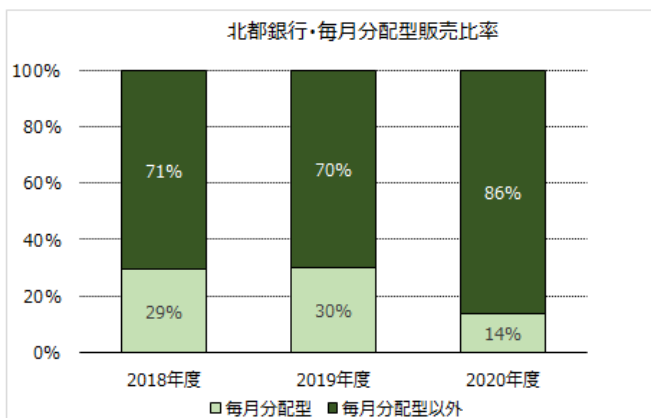
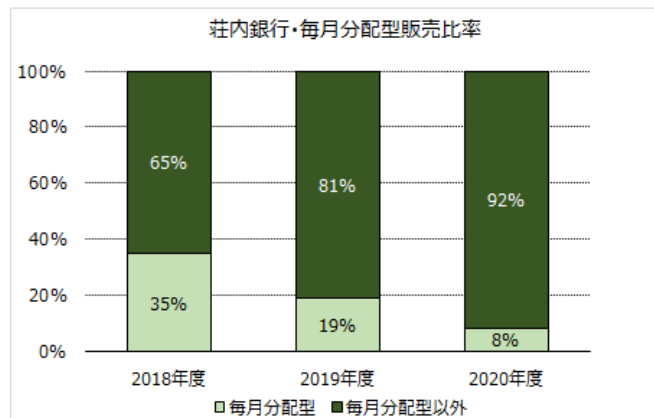


※1年間の振替件数および振替金額の合計から1か月あたりの平均件数および金額を契約件数、および月間振替金額として集計しております。

（7）販売に占める毎月分配型投資信託の割合

お客さまの中長期的・安定的な資産形成をサポートします。

- ▶ 取扱商品の拡充により、お客さまの幅広いニーズにお応えした結果、相対的に毎月分配型投資信託の販売割合が低下しております。



※投資信託の販売額を毎月分配型と毎月分配型以外に分類し集計しております。

3. 重要な情報の分かりやすい提供

主な取組方針（アクションプラン）

- ▶ 商品・サービスの提案にあたっては、同一の投資対象など類似する商品・サービス等を比較することで、分かりやすい情報提供を行います。
- ▶ お客さまが保有する資産状況や経済環境の変化等を踏まえ、かつ中長期的な視点にも配慮したアフターフォローを適宜適切に行います。
- ▶ お客さまへの説明にあたっては、タブレット端末等の視覚的なコンテンツを有効に活用し、お客さまの投資判断に役立つ情報を分かりやすく、かつ丁寧に行います。
- ▶ お客さまにご負担いただく手数料等について、タブレット端末等の説明資料の充実を図り、分かりやすく説明を行います。
- ▶ お客さまに正しくご理解いただけるよう、明確かつ平易に誠実な情報提供を行います。

# 主な取組方針（アクションプラン）と成果指標（KPI）

## （ご参考①）ファンドラインナップ

- ▶ 投資信託の取扱商品をまとめた「ファンドセレクト」は、投資信託をお取引いただくお客さま向けに定期的に改訂し最新の情報提供ツールとして活用しています。
- ▶ 「ファンドセレクト」は、投資信託の基本的な仕組みやご購入時から保有・ご解約までにご負担いただく手数料等の費用について分かりやすくご説明するためのツールとして活用しています。
- ▶ 投資対象や投資目的に分けて取扱商品を一覧表示していますので、お客さまの投資検討のツールとしてもご利用いただいております。

## ◆投資信託ラインナップ冊子「ファンドセレクト」

北都 投資信託ラインナップ FUND SELECT

荘銀 投資信託ラインナップ FUND SELECT

### ▼投資信託の仕組み

投資信託は、運用実績に応じて利回りが変化します。運用実績は公表された決算書に基づき、運用会社が毎月決算書を作成し、投資信託の運用状況を公表しています。

### ▼取扱商品一覧

## （ご参考②）ファンド・マーケット情報

- ▶ お客さまに担当者が情報提供を行うツールとしてモーニングスター社の「Wealth Advisors」を採用しております。
- ▶ 本ツールは、お客さまの投資判断やご検討にあたって有効な積立や取崩し等のシミュレーション機能を利用することで、分かりやすい説明資料として活用しております。

## ◆情報提供ツール「Wealth Advisors」

Wealth Advisors

### ▼マーケット情報

### ▼ファンド詳細分析

## ▼ライフイベント表

結婚、出産、マイホーム、人生には大きなイベントがいくつもあり、それぞれ少なからず「お金」がかかります。計画的に資金を準備するイベントを1つ1つ見ていきましょう。

## ▼キャッシュフロー表

項目	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年
収入	428	438	448	458	468	478	488	498	508	518
支出	428	438	448	458	468	478	488	498	508	518
純増	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
資産総額	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000

## ▼資産運用シミュレーション

あなたに合った資産配分のイメージは以下の通りです。

あなたにおすすめの投資スタイルは **慎重運用型** (利回り0.1%以上3.5%以下)  
国内債券の配分比率を高め、利益よりも安定性を重視します。

資産配分イメージ	国内債券 56%	国内債券 20%	国内株式 0%	国内株式 0%	REIT 0%	REIT 0%	合計
分散投資比率	56%	20%	0%	0%	0%	0%	100%
当初の資金	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円
毎月の積立額	5,040円	1,800円	720円	720円	720円	720円	9,000円



（ご参考③）投資信託の基準価額分析ツール

- ▶ お客さまに担当者が情報提供を行うツールとしてミンカブ・ジ・インフォノイド社の「Fund Analytics」を採用しております。
- ▶ 投資信託の基準価額を投資対象の損益、分配金、信託報酬等に分解し、変動要因の可視化が可能です。
- ▶ 基準価額の変動要因から分配金やトータルリターンについて分かりやすく説明する際に活用しています。

◆ミンカブ・ジ・インフォノイド「ファンドアナリティクス」



▼変動要因分析



▼ポートフォリオ分析






（ご参考④）投資信託・基準価額一覧「LinkBox」

- ▶ お客さまが、投資判断の重要な要素となる投資信託の基準価額情報をご自身で確認できるツールです。
- ▶ 複数の銘柄を投資信託のコストやリターン、基準価額の推移を比較することが可能です。
- ▶ 本ツールは銀行 HP・アプリを通してご提供しております。

◆投資信託基準価額一覧「LinkBox」

▼投資信託基準価額情報



◀ファンド比較

ファンド名	運用会社	基準価額 (2021/06/23)	累積リターン (%) (2021年06月末)			分配 (円)	月次レボ	注目する	マイファンド	削除
			1年	3年	5年					
東京海上・円資産バランスファンド (毎月決算型) (愛称：円資産)	東京海上 AM (06/23)	10,520 -41	6,217.86	+2.82	-0.04	+2.21	30	📄	📍	🗑️
東京海上・円資産バランスファンド (年1回決算型) (愛称：円資産 (年1回決算型))	東京海上 AM (06/23)	11,137 -12	2,696.68	+2.83	-0.02	+2.24	0	📄	📍	🗑️
財産3分法ファンド (不動産・債券・株式) (毎月分配型)	日興 (06/23)	4,027 +4	3,597.40	+17.18	+23.90	+35.65	30	📄	📍	🗑️
財産3分法ファンド (不動産・債券・株式) (資産成長型)	日興 (06/23)	21,819 +22	152.76	+17.27	+24.24	+36.16	10	📄	📍	🗑️
世界経済インテックスファンド	三井住友 TAM (06/23)	28,005 +153	1,009.07	+24.78	+27.08	+47.57	0	📄	📍	🗑️

#### 4. 利益相反の適切な管理

##### 主な取組方針（アクションプラン）

- ▶ 新商品導入時に利益相反に係るリスクチェックを行い、利益相反を適切に管理します。
- ▶ 乗換取引に係るモニタリングを行い、お客さまに不利益となる取引の発生がないか確認を行います。

#### 5. 社内体制・社員教育の充実

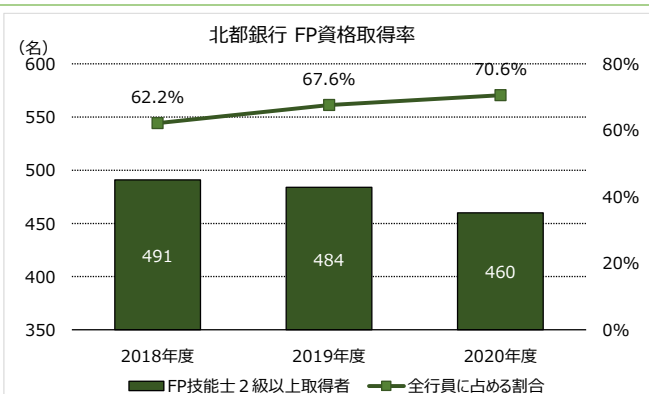
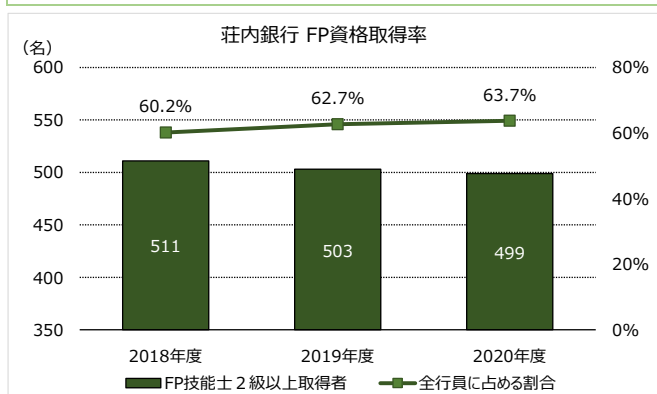
##### 主な取組方針（アクションプラン）

- ▶ FP 関連資格の取得推進および行内研修・ロールプレイング等の実施により、コンサルティング力の強化に向けた人材育成を行います。
- ▶ お客さまに対する分かりやすい情報提供を行うため、定期的に経済環境等の行内研修を行います。
- ▶ お客さまのニーズに応じた提案ができるよう業績評価体系の整備に取り組んでまいります。

##### (8) FP（ファイナンシャルプランナー）資格取得者数および取得率

コンサルティング提案のための知識・スキルの向上

- ▶ お客さまの運用相談・コンサルティングにお応えするため、資格取得を通じて、必要となる知識・スキルの向上に努めております。



##### (ご参考⑤) 人材育成の取組み

- ▶ 行内研修の充実を図り、販売員のコンサルティングや説明スキルの向上に継続的に取り組めます。
- ▶ 行内研修においても積極的に外部講師を招聘し、Web 会議システムを有効に活用した研修を定期的で開催し、販売員が分かりやすい説明を行うために積極的に受講し、スキルアップに努めております。

##### ■外部講師による Web 研修

研修テーマ	実施回数	研修の受講者数	
		庄内銀行	北都銀行
投資信託・マーケット関連	7 回	700 名	673 名
生命保険・相続贈与関連	6 回	572 名	501 名
合計	13 回	1,272 名	1,147 名

##### (ご参考⑥) 業績評価体系整備の取組みについて

お客さまのご意向やニーズにお応えするコンサルティング提案を実践するため、お客さまに選ばれる活動を促し、評価する業績評価体系の整備に取り組んでおります。

- ▶ お客さまの中長期の資産形成に資する積立投資の推進などの販売プロセスを評価するとともに、預かり資産残高に軸をおいた業績評価を実践しております。
- ▶ 販売手数料等の実績に偏重しない、販売体制の構築、業績評価を実践しております。



## 6. 「お客さま本位の業務運営方針」と「顧客本位の業務運営に関する原則」の対応関係

フィデアグループの「お客さま本位の業務運営方針」は、金融庁が2017年3月に公表、2021年1月に改訂した「顧客本位の業務運営に関する原則」を採択し、本原則に基づき定めています。

「お客さま本位の業務運営方針」は、「顧客本位の業務運営に関する原則」の【2】～【7】について、以下の通り対応しています。

お客さま本位の業務運営方針	対応する顧客本位の業務運営に関する原則の項目
1. お客さまの利益の追求	【2】 顧客の最善の利益の追求 付されている（注）を含む。
2. お客さまにふさわしいサービスの提供	【6】 顧客にふさわしいサービスの提供 付されている（注1）（注4）（注5）を含む。 なお、（注2） <sup>※1</sup> （注3） <sup>※2</sup> を含まない。
3. 重要な情報の分かりやすい提供	【4】 手数料等の明確化 【5】 重要な情報の分かりやすい提供 付されている（注1）（注3）（注4）（注5）を含む。 なお、（注2） <sup>※1</sup> を含まない。
4. 利益相反の適切な管理	【3】 利益相反の適切な管理 付されている（注） <sup>※3</sup> を含まない。
5. 社内体制・社員教育の充実	【7】 従業員に対する適切な動機づけの仕組み等 付されている（注）を含む。

※1 ファンドラップ等の複数の金融商品・サービスをパッケージとして取扱う商品がないため該当いたしません。

※2 金融商品の組成に携わらないため該当いたしません。

※3 同一グループ内に商品を提供する証券子会社等を有していないため該当いたしません。

以上